

2016年度 中央大学共同研究費 一研究報告書一

研究代表者		所属機関	文学部	2016年度助成額
		氏名	都筑 学	
		NAME		
研究 課題名	和文	発達障害に代表される認知的多様性・認知の偏りをもつ学生への学修支援に関する研究		研究 期間
	英文	Research on support for students with biased cognitive diversity represented by developmental disorders		
2016年度 ～2017年度				

1. 研究組織

	研究代表者及び研究分担者		役割分担	備考
	氏名	所属機関/部局/職		
1	都筑 学	中央大学・文学部・教授	研究統括、調査・学修支援	研究代表者
2	山科 満	中央大学・文学部・教授	メンタルヘルス支援	研究分担者
3	緑川 晶	中央大学・文学部・教授	認知機能評価、学修支援	研究分担者
4	富田 拓郎	中央大学・文学部・教授	メンタルヘルス支援	研究分担者
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
合計 4 名				

2. 2016年度の研究活動報告

(和文)

本研究プロジェクトは、本学における発達障害のある学生に関する実態調査（共同研究プロジェクト 2012～2013 年度）および、CSW による発達障害学生への実践的な支援（教育力向上推進事業 2014～2015 年度）の成果をふまえつつ、ある種の特性や認知的な偏りを有することによって、困難を抱えながら大学生活を送っている学生の認知的機能を実験的な手法で検討するとともに、学修場面での困難事象を調査的な手法で明らかにすることを目的としていた。

教育心理学（都筑）、臨床心理学・精神医学（山科・富田）、神経心理学（緑川）の4名が共同研究体制を組み、CSW（文学部・理工学部）も交えて、夏休み期間中を除いて月1回、発達障害研究会を開催し、発達障害のある学生の個別具体的な困難状況と支援のあり方を検討していった。その過程で、学業および学生生活全般における困難さに関して、認知的な偏りの及ぼす影響やそれに対する支援のあり方が整理されていった。それと同時に、人文科学研究所倫理審査委員会に対して、「認知的多様性にもとづく学生への学修支援に関する研究」としての倫理審査を申請して、2016年7月20日付けで承認（倫理審査結果通知書）を得た。

このように研究を進めていく条件作りはおおよそ順調に進められた一方で、発達障害があることによって学業場面や対人的場面において困難を抱える学生について、本人の同意を得た上で実験に協力してもらうということは容易に達成できるものではなかった。実際に実施することができたのは、同意書に署名した1名の学生を対象に、学生が感じている視空間的な困難さを検討する課題に関して、神経心理学的な検査の中でも特に非言語課題（Raven Coloured Progressive Matrices; RCPM, Wisconsin Card Sorting Test; WCST, Kohs 立方体組み合わせテスト）による課題実施時を測定対象とした実験をおこなったことであった。今後は、一般学生を対象として実験をおこない、そこから困難さをもつ学生を抽出する手法に転換して、データを集めていく。研究計画では、一般学生を対象に大規模アンケートを実施し、学生の認知特性と大学教育で用いる教育コンテンツや教育手法との適合度や、学生生活で生じる困難度との関連性を検討することも目的としていたが、大人数の講義と少人数の演習・ゼミ、外国語の授業、各種の実習を伴う授業など、異なる特徴をもつ授業において、発達障害のある学生が抱える困難さは多種多様であり、焦点化に手間取ってしまった。今後は、人文科学研究所の倫理審査委員会の承認を得た上で、google フォームを使用した web 調査に切り替えて、幅広い学生を対象にして、アンケート調査を実施し、そこから得られたデータの解析に努めていきたい。

(英文) 英文では、得られた実証的に焦点化して成果をまとめています。

We started studying gaze recognition by college students with developmental disability characteristics using eye tracker (Tobii Pro Glasses 2: Tobii). The equipment developed in this year is a glass type eye tracker that can clarify cognitive characteristics in daily task scenes. A student who appealed difficulties in learning in a specific area during the course. He indicated his intention to cooperate with this research project, and signed a consent form. Among neuropsychological examinations, Raven Colored Progressive Matrices (RCPM, Wisconsin Card Sorting Test; WCST, Kohs cube combination tests were carried out as measurement. It was suggested that not only physical objects but also actual people's interaction may be possibly measured by this type of experiment.

